

関係者各位

令和2年5月26日

鳥取県米子市西福原8-1-1  
小規模多機能ホーム 翠のさと  
管理者 阿部 一志

## 小規模多機能ホーム翠のさと運営推進会議報告書

拝啓

薫風の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

小規模多機能ホーム管理者をしております阿部と申します。この度は、お忙しい中また様々な状況下の元、小規模多機能ホーム翠のさとにおける運営推進会議員を引き受けて頂き誠にありがとうございます。今年度の運営推進会議は、下記の皆様で会議開催を構成していくように考えておりますが、コロナウイルスの関係で初回のお顔合せが出来ないこと非常に残念に思っております。つきましては、第一回目として当事業所における事業方針並びに運営状況について書面を通してご報告させていただきます。

### 【 議 題 】

- ① 運営推進会議の目的 メンバー紹介
- ② 小規模多機能ホーム翠のさとの方針について
- ③ 運営状況
- ④ 活動報告
- ⑤ 今後の日程

## ① 運営推進会議メンバー紹介

運営推進会議委員・米子市長寿社会課 職員様

- ・米子市ふれあいの里地域包括支援センター 介護支援専門員様
- ・上谷一区 自治会長様
- ・上谷一区 民生委員様
- ・利用ご家族様
- ・有限会社翠のさと 代表取締役
- ・小規模多機能ホーム翠のさと 管理者

## ② 小規模多機能ホーム翠のさとの方針について

当事業所は地域で暮らす高齢者、在宅介護でお悩みのご家族のお力になりたいという思いから4月1日に開所致しました。

米子市の中でも年々人口増加があるこの西福原地域での活動が出来ることを嬉しく思います。私たち小規模多機能ホーム翠のさとでは、事業所理念を「関わる誰にも感動を！ありがとうが咲く事業所へ」というものを掲げております。この理念の意味するところは、関わる誰にもという部分には当然ご利用者の方が含まれますが、ご家族、地域の皆様や関係機関の皆様、ひいてはスタッフ、その家族にまで感動的なサービスを提供したいと考えております。そして、“ありがとう”この言葉が、対ご利用者だけでなく、スタッフ間でも多く咲くような事業所を目指しております。特に意識しているのは、「生活を中心」とした考え方です。ご利用者のお世話をするだけの考えではなく、お互いがフラットな関係の下、ご利用者お一人おひとりが持つ力を最大限に発揮できる主体的な生活を送ることが出来るような支援を展開したいと考えています。そして、ご利用者と私たちスタッフが地域で暮らす生活者となり地域活動への参加や、地域の様々なニーズに対応し貢献出来るようにしっかりと皆様方のご意見を伺い、私たち自らが行う小規模多機能ホームの支援に活かしていきたいと考えています。その為にも、運営推進委員となって頂いた皆様からのご要望を広く聞き展開することで、「こんな事業所があるんだ！」と感動されるよう日々精進していく所存でありますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

### ≪小規模多機能型居宅介護とは≫

通い・訪問・泊まりの3つを合わせた総合的なサービスで看護師により体調管理を行い、入浴・食事・排泄・運動・家事等生活リハビリを行い同じ職員が通い、訪問、泊まりなど対応するので安心してサービスを利用できます。

通い、訪問、泊まりなど、同じ事業所に対応が可能で、住み慣れた地域で在宅生活を継続していくことを目的として小規模多機能型居宅介護サービスが求められています。

※小規模多機能ホーム翠のさと利用定員数・・・登録：29名 通い：18名 泊まり：7名

③ 運営状況（小規模多機能ホーム翠のさと 登録数・サービス状況・取り組み内容等）

（令和2年4月末現在）

登録数 （7名）

要介護度

要介護1 4名（男性0名 女性4名）

要介護2 3名（男性1名 女性2名）

平均年齢

87.6歳（男性85歳 女性 88歳）

通い平均利用者人数／ 2名（1日）

訪問延件数 30件

泊まり利用者数／ 2名（1ヶ月）

④ 【活動状況】

現在、コロナウイルス感染拡大の観点から活動に関しても制限があり、満足いく活動が行えていません。その中でも、事業所内ではマスク不足に対しマスク作りを行い、利用されるご家族にお渡しするなど自主的に行って参りました。また、在宅生活を継続する為に、必要な情報をご家族や支援者から聞き取り、当事業所のケアマネージャーがプランの作成を行い、それに基づき支援を行っております。ご家族様からの声としては、「最近、家で包丁を持って台所に立つなんて見たことはありませんよ。」あるご家族のお孫さんからは「おばあちゃんの表情が明るくなってきて家でも楽しそうにしている」と喜びの声を聞かせていただきました。一方で、どうしても家族は通いサービスを利用してほしいとご希望されても、ご本人様の意思がはっきりしており「家でも自分でなんでもできるから行きたくない。」と言われ通いのサービスを提供できないようなこともありました。その際は、急遽訪問サービスに切り替え対応は致しましたが、ご家族様やご本人様に対して個々の想いを理解し満足いくサービスの提供に関して難しさを感じています。今後もそのような事例を通じ、ご本人やご家族様と連携を取りながらスタッフ間でも話し合いを行い、満足いくサービスの提供に努めていきたいと思っております。皆様方からの声を直接お聞きしながら今後の運営にあたっていきたく思いますので、なにかご意見、ご提案がありましたら小規模多機能ホーム（TEL0859-30-3378 阿部）までご連絡いただければ幸いと存じ上げます。

⑤ 今後の会議予定

運営推進会議は、おおむね2ヶ月に1回の開催となります。今回5月の開催としましたので、7月・9月・11月・1月・3月の今回を含めた年6回の開催となります。

新型コロナウイルス感染拡大予防の観点により、三密を避けるために、運営推進会議の開催もこのような形で行わなければならないこと、ご理解いただき、今後とも小規模多機能ホーム翠のさを宜しくお願い致します。

以上

追伸

次回の会議日程

7月21日（予定） ※日程は参加者の調整後決定・連絡を行うことにします。